

# 第154期 報告書

2014年4月1日～2015年3月31日



OAK  
CAPITAL

Oak キャピタル株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期(2014年4月1日～2015年3月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、円安が進行するとともに、企業収益が改善されるなど、緩やかに回復してまいりました。

一方、国内株式市場は、上場企業がROE(自己資本利益率)の改善を意識した大幅な増配や自社株買いといった株主還元策に取り組むとともに、IR活動の充実や株主重視の姿勢を明確にしたため、2000年以来の高値水準まで上昇いたしました。

当社はこのような経済環境の中で、当期は、ホテル、飲食、情報通信機器、医薬品開発ベンチャー企業等に対する新規のエクイティファイナンス引受を行いました。また、既存投資先企業に対しては、事業の再構築支援や成長戦略事業支援などを行い、企業価値向上の後押しを積極的に取り組んでまいりました。

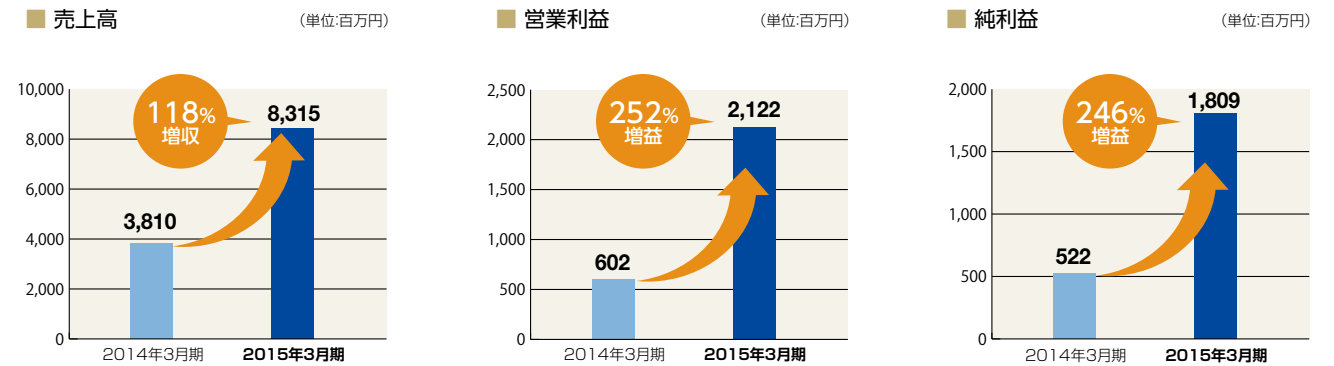
こうした結果、投資先企業の業績向上や、新たな事業展開等が株式市場で評価され、当社の投資先企業の時価総額が大幅に増加し、2001年に投資銀行事業に参入以降、過去最高益を達成いたしました。

本年度においても、当社のエクイティファイナンス引受業務は、さらに重要性が増すと予想され、成長分野を事業に持つ新興市場の企業を対象とした事業資金の調達支援と、再生企業向けの成長支援を中心とした投資銀行業務を通じて、企業の未来に向け支援することで、社会の一員として貢献を果たすと同時に、事業価値と企業価値を備えた企業集団を目指し、さらなる成長軌道に向け業務に邁進する方針であります。

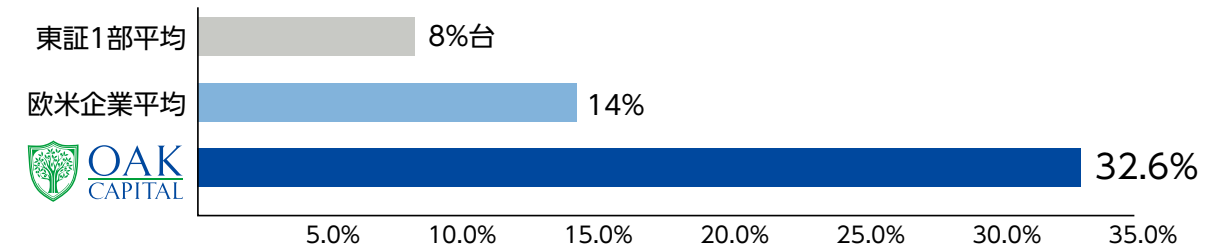
引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役会長 兼 CEO 竹井博康



■ ROE 2015年3月期



## 業績サマリー

2015年3月期の業績は、売上高83億15百万円(前年同期比118.2%増)、営業利益21億22百万円(前年同期比252.4%増)、経常利益18億62百万円(前年同期比208.6%増)、当期純利益18億9百万円(前年同期比246.1%増)、1株当たり当期純利益は38円20銭となりました。

なお、ROEは前期の19.1%から32.6%へと大幅に上昇し、上場企業(東証一部)の当期予想平均値である約10%に比べ収益性は高く、成長性を表す営業利益成長率は252.4%、安全性を表す自己資本比率は91.3%と、各経営指標において高い数値となりました。

また生産性を表す従業員1人当たりの営業利益は、202.1%増の1億1百万円となり、今後も強い財務体質をベースに、少数精鋭の強みを活かし敏速果敢に取り組んでまいります。

■ 貸借対照表

| 科目          | (単位:百万円)            |                     |
|-------------|---------------------|---------------------|
|             | 前期末<br>(2014年3月31日) | 当期末<br>(2015年3月31日) |
| <b>資産の部</b> |                     |                     |
| 流動資産        | 3,941               | 7,137               |
| 固定資産        | 427                 | 437                 |
| 有形固定資産      | 55                  | 58                  |
| 無形固定資産      | 3                   | 3                   |
| 投資その他の資産    | 368                 | 375                 |
| 繰延資産        | 11                  | 4                   |
| <b>資産合計</b> | <b>4,380</b>        | <b>7,579</b>        |

Point

資産合計=前期末と比べ、31億99百万円増加し75億79百万円となりました。増加した主な要因は、営業投資有価証券の投資回収の進捗により現預金が増加したこと及び当社が保有している上場株式の株価の上昇により営業投資有価証券が増加したことによるものです。

| 科目             | (単位:百万円)            |                     |
|----------------|---------------------|---------------------|
|                | 前期末<br>(2014年3月31日) | 当期末<br>(2015年3月31日) |
| <b>負債の部</b>    |                     |                     |
| 流動負債           | 97                  | 551                 |
| 固定負債           | 90                  | 95                  |
| <b>負債合計</b>    | <b>187</b>          | <b>647</b>          |
| <b>純資産の部</b>   |                     |                     |
| 株主資本           | 4,186               | 6,305               |
| 評価・換算差額等       | 4                   | 615                 |
| 新株予約権          | 1                   | 12                  |
| <b>純資産合計</b>   | <b>4,192</b>        | <b>6,932</b>        |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>4,380</b>        | <b>7,579</b>        |

Point

純資産合計=前期末と比べ、27億39百万円増加し、69億32百万円となりました。増加した主な要因は、当期純利益を計上したこと及び、当社が保有している上場株式の株価の上昇により、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

■ 損益計算書

| 科目           | (単位:百万円)                         |                                  |
|--------------|----------------------------------|----------------------------------|
|              | 前期<br>(2013年4月1日~<br>2014年3月31日) | 当期<br>(2014年4月1日~<br>2015年3月31日) |
| 売上高          | 3,810                            | 8,315                            |
| 売上総利益        | 1,374                            | 3,121                            |
| 販売費及び一般管理費   | 772                              | 998                              |
| 営業利益         | 602                              | 2,122                            |
| 経常利益         | 603                              | 1,862                            |
| 特別利益         | 2                                | 115                              |
| 特別損失         | 81                               | 3                                |
| 税引前当期純利益     | 523                              | 1,974                            |
| 法人税等合計       | 1                                | 165                              |
| <b>当期純利益</b> | <b>522</b>                       | <b>1,809</b>                     |

Point

当期純利益=投資事業の方針に基づき、上場企業向けの資金調達と成長支援に取り組むとともに、株式市場の回復を背景に既存投資先の投資回収を進めたことにより、前期に比べ12億86百万円増加の18億9百万円となりました。

■ キャッシュ・フロー計算書

| 科目                      | (単位:百万円)                         |                                  |
|-------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
|                         | 前期<br>(2013年4月1日~<br>2014年3月31日) | 当期<br>(2014年4月1日~<br>2015年3月31日) |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>1,156</b>                     | <b>2,609</b>                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △307                             | △36                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 369                              | 315                              |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | △0                               | 0                                |
| 現金及び現金同等物の増減額           | 1,219                            | 2,888                            |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 130                              | 1,349                            |
| 現金及び現金同等物の期末残高          | 1,349                            | 4,237                            |

Point

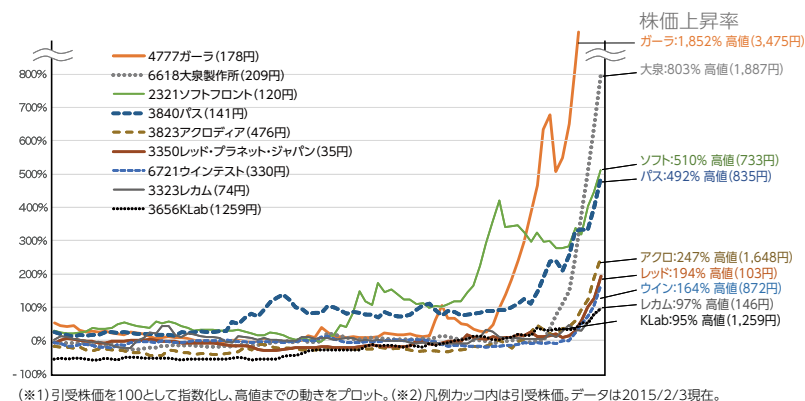
営業活動によるキャッシュ・フロー=営業投資有価証券の売却等による投資回収の進捗によって税引前当期純利益を計上し、前期に比べ14億52百万円増加の26億9百万円となりました。

投資銀行業務2014年の成果

投資先10社の企業の  
時価総額  
合計は**4.7倍**へ上昇

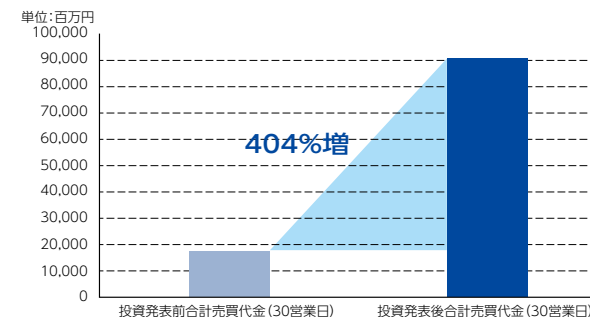
|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 決議前日<br>時価総額     | <b>34,884百万円</b>  |
| 2014/12末<br>時価総額 | <b>63,357百万円</b>  |
| 発表後高値時の<br>時価総額  | <b>164,291百万円</b> |

投資先10社の株価上昇率は平均**499.8%**

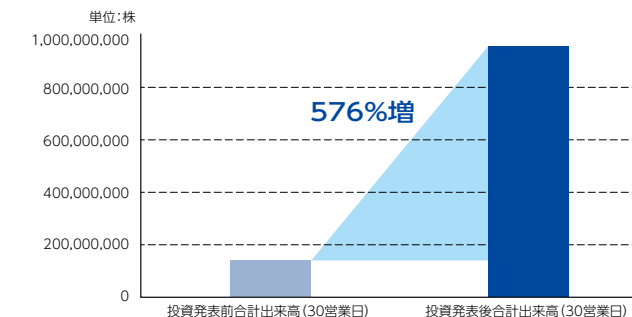


投資先企業の株式流動性は平均**400%**以上のアップ

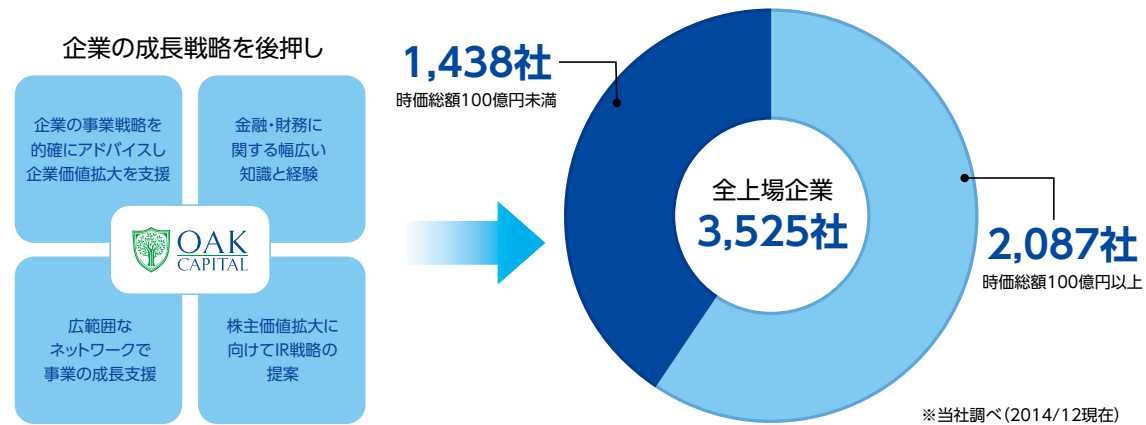
■ 出資先10社の株式売買代金比較



■ 出資先10社の株式出来高比較



新興・中堅上場企業の時価総額100億円未満の上場企業数は**1,438社**  
 ファイナンス支援と成長戦略を支援

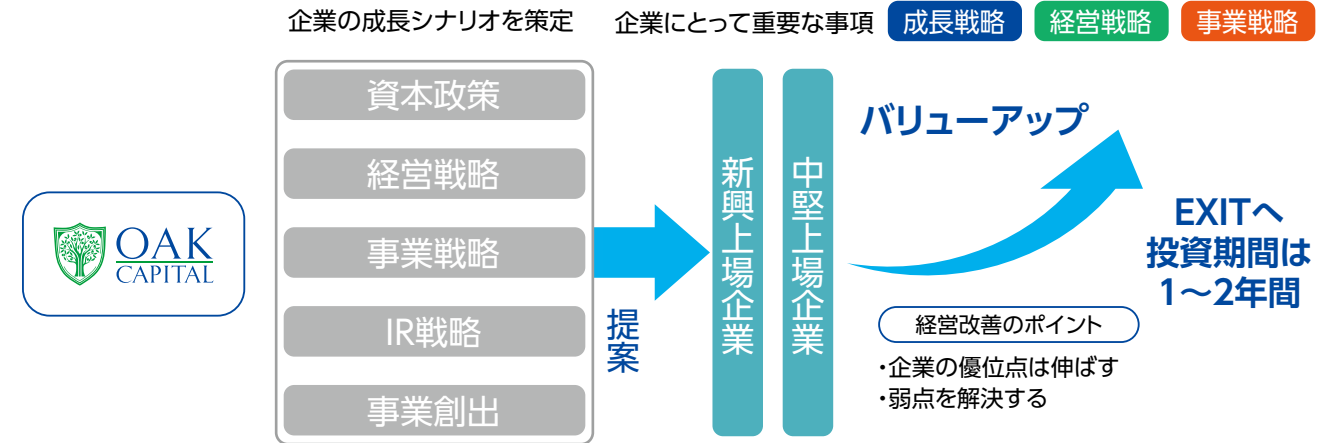


当社独特の投資スタイルは、上場企業の経営者からご評価をいただいています。

投資選定にあたっては、業界、業種を問わず、客観的に見て良い技術や経営力などを持っているにも関わらず、市場での評価が低い企業や成長意欲の高いマネジメント層及び経営者にフォーカスしています。単に投資をする、ということだけではなく、戦略に関わる様々なアドバイスを通じ、付加価値を高め、企業価値を上げられるよう多面性をもった側面支援を行うことが当社における一番の特徴です。

実際に事業運営に関わってきた多様な人材が、当社のあらゆるリソースを活用し支援をさせていただくスタイルも特色の一つです。

執行役員  
 事業本部 投資銀行部長 榎野 冬樹



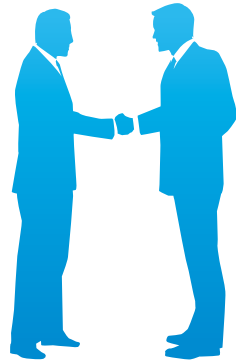
特に上場企業への投資においては、新たな投資先の選定、それだけでなく投資後のバリューアップと、投資先同士のアライアンスを組むご提案や、それによる企業価値向上の支援を主な役割としております。

これまでの経歴を活かし、主にICTやクロスボーダーというキーワードで投資先選定を行っておりますが、当社の強みは、自己投資のスタンスをスピーディーに意思決定できる点であると考えます。

目先だけでなく、先々へとビジネス視点を拡げることで、確実に伸びると思われる市場に対して成長支援を出来るよう見据えていくことも必要であり、そのポテンシャルを見出していくことも私たちの使命です。

執行役員  
 事業本部 投資銀行部長 木戸 康行

Oakキャピタルは  
企業と人の未来に向かって  
支援する投資銀行です



少数精鋭で事業に取り組む

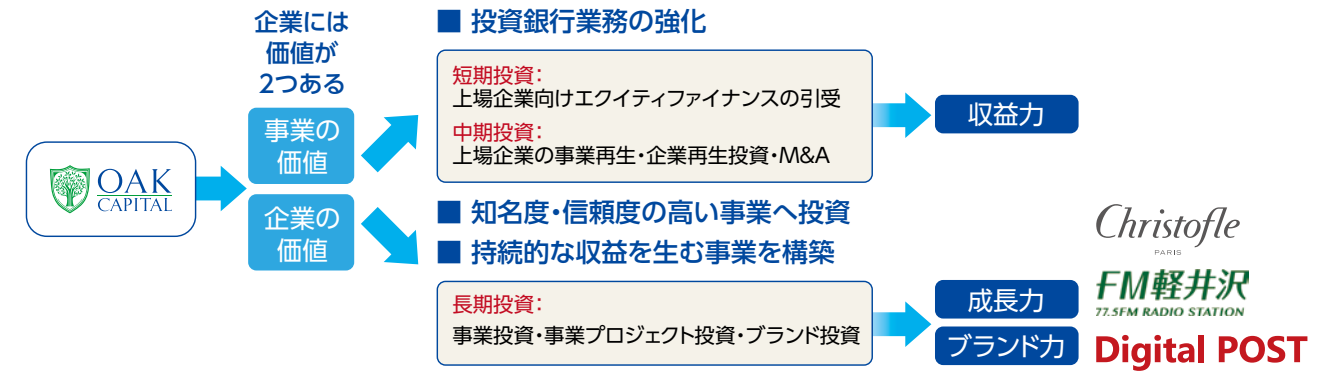
- 社員1人当たりの営業利益は1億円
- 社員1人当たりの最終利益は0.9億円
- 社員1人当たりのキャピタルゲインは1.5億円

当社の管理体制は、コンプライアンス関連規程、規則等を定め、全役職員が法令及び社会規範を遵守した行動をとるための行動規範とするとともに、社員への周知徹底、教育啓蒙を継続し、社会的要請への対応を最優先する企業風土を醸成しております。

特に、「コンプライアンス行動規程」、「反社会的勢力対応規程」においては、警察、顧問弁護士等との連携により、市民生活の秩序又は安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは断固として対決し、一切の関係を遮断するなど、いかなる場合においても企業倫理に則り、法令遵守を徹底し、公正な事業運営を行っております。

また、未公表情報の取り扱いに於いては東京証券取引所からの指導および要請に従い、インサイダー取引等の防止を図るなど、金融商品取引法及びその他の関連法令を遵守しております。

取締役  
管理本部長 兼 経理財務部長 秋田 勉



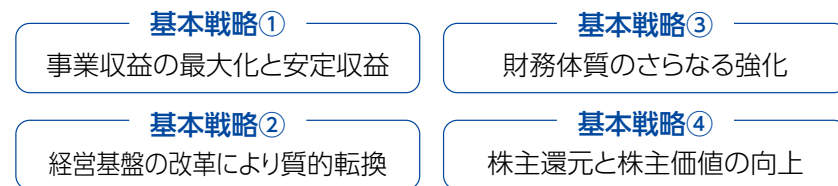
当社は2013年から事業構造のイノベーションに取り組み、経済環境や株式市場の変動に左右されない安定した経営基盤と飛躍する投資銀行を目指しております。

現在の主力事業は、上場企業向けエクイティファイナンス投資ですが、今年度より事業への投資を推進してまいります。そして、純投資分野と事業投資分野からなる2事業部門体制へと事業構造を変革することが成長戦略です。

当社のブランド投資及び事業プロジェクト投資では、「クリストフル」「FM軽井沢」「デジタルポスト」に出資しておりますが、何れも長期の視点で育成し、そのプロフィットを得るスタイルを構築していくことが、基本的な考え方です。

今後も、知名度や信頼度の高いブランドへの投資や、既存投資先企業と共同して事業の創出を行う事業プロジェクト投資を幅広く展開してまいります。

2015年経営計画



取締役  
事業本部 事業投資部長 長谷川 隆也  
執行役員  
事業本部 事業投資部長 磯村 康典  
執行役員  
事業本部付 細田 和宏

## 会社概要

■ 会社概要 2015年3月31日現在

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 商号    | Oakキャピタル株式会社           |
| 創業    | 1868年                  |
| 設立    | 1918年                  |
| 資本金   | 35億56百万円               |
| 市場    | 東証第二部(上場1949年)         |
| 主幹事証券 | 大和証券                   |
| 会計監査人 | 監査法人 日本橋事務所            |
| 取引銀行  | 三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行 |

■ 役員 2015年4月1日現在

|                   |               |                           |
|-------------------|---------------|---------------------------|
| 代表取締役<br>会長 兼 CEO | 竹井 博康         |                           |
| 取締役               | 秋田 勉          | 管理本部長 兼 経理財務部長            |
| 取締役               | 長谷川 隆也        | 事業本部 事業投資部長               |
| 取締役*1             | 尾関 友保         | 元アクセンチュア(株)パートナー          |
| 取締役*1             | 宇田 好文         | 元(株)NTTドコモ代表取締役副社長        |
| 執行役員              | 榎野 冬樹         | 事業本部 投資銀行部長               |
| 執行役員              | 磯村 康典         | 事業本部 事業投資部長               |
| 執行役員              | 木戸 康行         | 事業本部 投資銀行部長               |
| 執行役員              | 細田 和宏         | 事業本部分                     |
| 顧問                | 岡本 行夫         | (株)岡本アソシエイツ代表取締役/外交評論家    |
| 顧問                | 千本 倅生         | 元イー・アクセス(株)代表取締役会長        |
| 顧問                | 山田 晴信         | 元HSBCグループ香港上海銀行在日副代表兼副CEO |
| 顧問                | Hong Liang Lu | UTStarcom, Inc. 取締役社長兼CEO |
| 顧問                | 小田嶋 清治        | 元仙台国税局長                   |
| 常勤監査役             | 高橋 英也         |                           |
| 監査役*2             | 永野 義一         | 弁護士                       |
| 監査役*2             | 坂井 眞          | 弁護士                       |
| 監査役*2             | 廣瀬 元亮         |                           |

※ 1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
 ※ 2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 株式の状況

2015年3月31日現在

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 86,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 48,701,620株 |
| 株主総数     | 22,152名     |

大株主 上位 10名

| 株主名                         | 所有株式数   | 持株比率  |
|-----------------------------|---------|-------|
| 日本証券金融株式会社                  | 3,401千株 | 6.99% |
| 山崎 光博                       | 3,274   | 6.73  |
| エルエムアイ株式会社                  | 2,316   | 4.76  |
| 竹井 博康                       | 895     | 1.84  |
| ジェー・エム・シー クレディ スイス セキュリティーズ | 517     | 1.06  |
| ヨーロッパ ジェー・ワイ 1007760        | 383     | 0.79  |
| 大川 徹                        | 360     | 0.74  |
| 白石 和弘                       | 224     | 0.46  |
| 吉澤 英和                       | 220     | 0.45  |
| 宮城 久夫                       | 199     | 0.41  |
| 利川 守信                       |         |       |

注)持株比率は、自己株式(30,136株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

|                     |  |
|---------------------|--|
| 事業年度                | 4月1日から翌年の3月31日まで   |
| 定時株主総会              | 毎年6月   |
| 配当金受領株主確定日          | 3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日  |
| 株主名簿管理人<br>(郵便物送付先) | 〒100-6026<br>東京都千代田区霞が関三丁目2番5号<br>株式会社アイ・アール ジャパン<br>電話0120-975-960(通話料無料) |

- 住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内  
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## 株主優待について

■ 対象となる株主様

2015年3月31日付の当社株主名簿に記載された、1単元(100株)以上をご所有の日本国内在住のすべての株主様を対象といたします。

■ 株主優待内容

| 対象となる株主様   |   |
|--|---|
| 内 容  | 100株以上ご所有の日本国内在住のすべての株主様  |
| クリストフル商品券<br> | ご所有株式数に応じた商品券をお送りいたします。<br>青山本店・六本木ヒルズ店にてご利用可能です。<br>(ご利用可能期間:2015年12月末迄) |

■ ご所有株式数別優待

| ご所有株式数別優待内容     |                  |
|-----------------|------------------|
| ご所有株式数          | クリストフル商品券        |
| 100株～499株       | 1枚 (2,000円相当)    |
| 500株～999株       |                  |
| 1,000株～1,999株   | 1枚 (3,000円相当)    |
| 2,000株～2,999株   |                  |
| 3,000株～4,999株   | 1枚 (5,000円相当)    |
| 5,000株～9,999株   |                  |
| 10,000株～49,999株 | 2枚 (10,000円相当)   |
| 50,000株～99,999株 | 10枚 (50,000円相当)  |
| 100,000株以上      | 20枚 (100,000円相当) |

※100株以上1,000株未満ご所有株主様へのご優待券種は2,000円、1,000株以上5,000株未満ご所有株主様へのご優待券種は3,000円、5,000株以上ご所有株主様へのご優待券種は5,000円となります。

クリストフルはフランスで誕生し、2世紀近くにわたり世界の人々に愛され続けるシルバークラウド最高級ブランドの老舗メーカーです。クリストフル社製の製品は、現在でもエリゼ宮やパリにある五つ星ホテル「ホテル・リッツ・パリ」をはじめとする世界の最高級ホテルや豪華客船、さらに国内の一流ホテルや高級レストランなどで使用されています。

<http://www.christofle.com/jp-ja>



Oak キャピタル株式会社 証券コード：3113

<http://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産赤坂ビル

本 社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282

事業本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811



Facebook

<https://www.facebook.com/oakcapital.jp>